

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第134号

発行日 2013年1月1日発行

PAS777

こんにちは、近藤です。あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

当社は本年で44年目に入りました。「解体屋」から「自動車リサイクル業」、そして「静脈産業」へと時代の変遷に順じてきました。ただ、その本質に違いがあるわけではありません。使える部品は再利用する、それ以外は資源としてリサイクルすることを考えてやってきました。

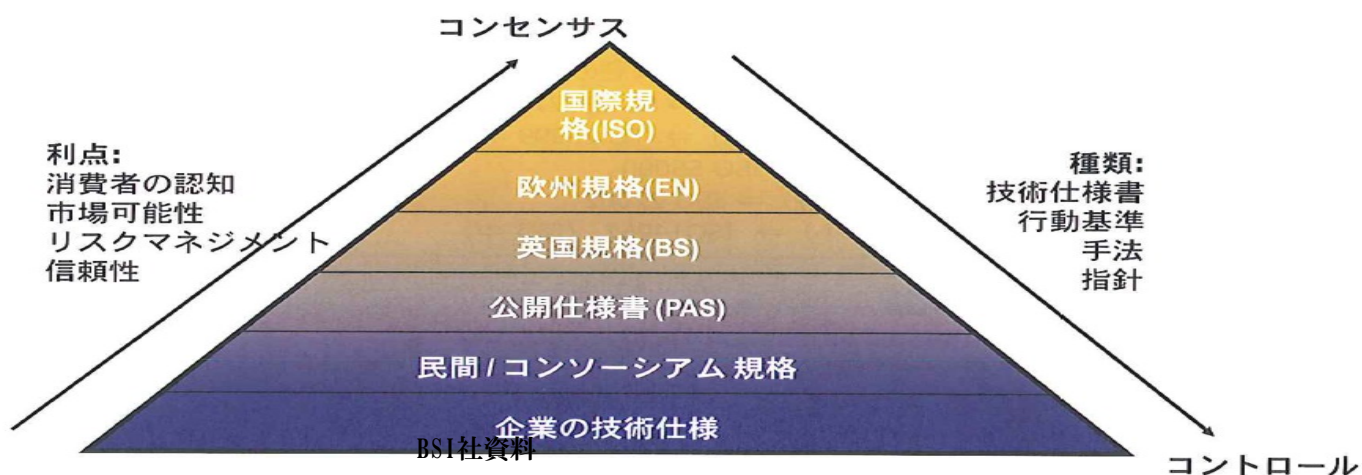
そんななかで、中古部品を販売しながら疑問に思っていたことが、輸出の場合、30万キロ走行の少々くたびれたエンジンでも、8万キロ走行の元気なエンジンでも、同じエンジン型式であれば価格が同じということです。日本国内販売の場合はそうでもないのですが、輸出の場合はほとんど一律の価格です。また、エンジンの品質、状態も本当のところは不

明です。

品質、状態が明快にわかり、それに対して正当な価格で販売する、中古部品でもこうしたフェアなビジネスができなくては業界は進歩しない、常々そう考えていたところからJRS (Japan Reuse Standard) を開発したのですが、今般、当社の持つこのJRSを公的な規格化とするための準備を始めました。それが「PAS777」です。下図の通り、これは将来、国際規格のISOまで持っていくつもりです。

私はPAS申請のため、2月に英国へ行き、BSI (英国規格協会) に対しプレゼンテーションを行います。これが認められればJRSは「PAS777」として日本発、世界初の中古エンジン規格となります。中古部品市場にもいよいよ、規格に沿った商品が流通することになります。

規格の種類



~広報コーナー~ 超人登場!!

皆さまこんにちは、総務部の松島です。会宝産業には、現役を過ぎてはまだ元気な超人が4名います。今回は、いつも元気ハツラツでお茶目な生産部の菊池 忠義さんにインタビューをしてきました。



昭和19年生まれ
68歳
生産部
菊池 忠義さん

Q 現在の仕事内容を教えてください。

A 主に車の解体、部品取りです。

Q 元気の秘訣はなんですか？

A 若い人と付き合うことです。僕が若い頃に、年配の方から世間の渡り方や世の中の裏表をいろいろ(笑)と教えていただきました。年を取ったら若い人と付き合い、ということも聞き、現在実践している次第です。

Q ここだけは「若者に絶対負けない」ということはありますか？

A 全部負けない！負ける気はない！！だけど体力的には…ちょっと分からないですが(笑)

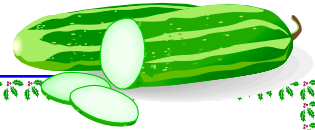
気力、知力は絶対負けない自信があります。

Q 皆さんにお伝えしたいことはありますか？

A 会宝産業に入り11年ほど経ちますが、入社当初と比べると工場がとてもきれいになり、挨拶が素晴らしいものになってきました。これからは誰からも好かれる会社を目指して頑張っていきます。



農業の取組み ~農業事業部より~



《来年に向けて少しずつ片付け開始》

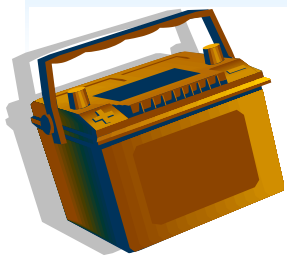
皆さまこんにちは、農業事業部の畠中です。ついに雪が降ってきて、本格的に冬到来といったところでしょうか。我々のトマトはこの寒い中でもなんとか頑張って実をつけてくれています。それもこれも廃油バーナーによる地温の確保ができているおかげです。地温さえ確保していれば冬場でもトマトの株がダメになることは滅多にありません。そして、ハウス栽培は晴れ間が少しでもあれば、ハウス内が急激に暖められるので20℃近くまですぐ上がります。ちなみにこのときの外気温は5℃くらいです。1日でも多く晴れる日があれば熟すスピードも上がってきます。我々は1日の中の数時間の晴れ間でも有効に活用して、少しでも早くトマトが熟すように努力していく所存です。

この時期の作業は片付けと次作に向けての準備と各所メンテナンスがメインとなります。片付けは栽培ベッドに敷いてあったシート類の洗濯や培土の撤去、メンテナンスは給液チューブの詰まりの確認、栽培ベッドのレベルの見直し、水枕の水量確認などです。それらが終わってようやく次作の準備に取り掛かれます。栽培ベッドを除菌液を付けた布でふき、洗濯したシート類を敷き直します。そして培土を敷き詰め完成です。収穫がないこの時期でも何かとやる事があってほとんどゆっくりできる期間がなかった1年でしたが、技術がまだまだ足りない我々はより一層の努力を重ね、来年は今年以上にトマト栽培を成功させてみせます。



改善提案の事例

～作業効率の向上を目指して～



こんにちは、生産部製造課の高田です。普段はお客様から頂いた車輛から、『有価部品』を生産する作業をさせていただ

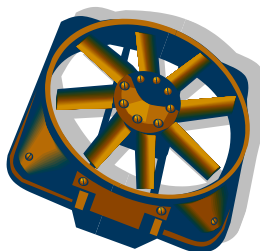
あるのかを調べてみました。その結果、一か月で 30 万円程の効果が得られることが判明しました。



り価値の有る部品のことです。

私が働かせていただいている現場では、廃タイヤを鉄とゴムに分別する作業があります。今までは人手をかけ、すべて手作業で行っておりましたが、鉄価格が低迷している中、

「もし、現在タイヤ抜き作業を行っている者が、有価部品回収を行うといったいどれほどの収益の差がでるのだろうか？」という疑問が生まれました。



元々、鉄価格が高いときに始めた仕事ですが、常に相場や様々な情報を得ることで、現場にはまだまだ改善できることがあると思います。

これからも自分たちの業務を見直し、広い視野をもって改善できるように努めていきます！



今月のパチリ☆

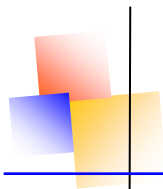
明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

さて、当社国際業務部の事務所には、合併会社のあるタイ、ケニア、ナイジェリアの現地時間の時計が掛けられています。これは現地とやり取りをする際にすぐに現地の時間がわかるようにするためです。ナイジェリアの時計には、「現在出向中」として社員の中川の写真入り吹き出しが付いています。ナイジェリアで孤軍奮闘中の中川が壁から見ていますので、日本の私達も気が引き締まります。

遠く離れていても心は一つ。同じ目的に向かってそれぞれの地で頑張っています。(担当:松本)

Thank You





相場はどうなの? ~生産部より~

皆さんこんにちは。会宝産業の山口です。北陸ではすっかり雪模様になりました。さて、先月お伝えした鉄相場の上昇ですが、12月の半ば位からジリジリ上がり、2,000円/トンほど上昇した所もあるのではないのでしょうか。結果、一安心な一カ月でした。しかし、一方では世界鉄鋼業の能力過剰問題を受け、鉄鋼通商摩擦が各国で急増しているのも現状です。中国や韓国、台湾などによる輸出増への対抗措置として日本も巻込まれるケースが増えてきているとの見方もあります。インドネシアでは、アンチ・ダンピング委員会(KAD I)による5カ国からの鋼板に対するアンチダンピング調査も行われるとの事です。アンチダンピング措置は、WTO上認められた貿易救済措置の1つで、他国が不当に安い価格(不当廉売)で輸出をした場合、輸入国政府が国内産業を保護するために関税を課すことをいいます。現在、同国での自動車鋼板の需要が伸びている為、何とか回避はされていますが、委員会は強硬な姿勢を崩さず、予断は出来ない状況にあると言われています。

12月度実績

入庫台数 975 台
処理台数 1,000 台

ありがとうございます

こちらをクリックして下さい!



「元気ライスプロジェクト」(写真1枚で参加できるボランティア活動)
「写真を送る」という行動を、起こしていただいた皆様に感謝です。今後も出来ることから、進めていきますのでよろしくお願いします。

●進捗報告

2012年12月31日現在 4,026 SMILE(971日経過)



今月のおまけ

~ ラジオ版 会宝通信 ~

今年より、ラジオかなざわ様で「ラジオCM(毎日)」と共に「ラジオ版 会宝通信(約10分)」というコーナーで発信させていただくことになりました。(13:09から10分/1~3月は第二金曜日/4~12月は第一金曜日)
会社の取り組みと共に、ホームページや紙面の会宝通信ではお伝えしきれないような内容も、発信できればと思っております。ぜひお聞きください。

またラジオCMに関しては、社員自らがナレーション入れを行いました。ラジオ局の方のモチベーションが上手で、「今のいいですね~、その調子でもう1回お願いします♪」という流れで楽しく収録ができました。

この度は、ラジオかなざわ様のHPも弊社関連会社で作成させていただきましたので、あわせてご覧ください。(担当:佐藤)



会宝産業株式会社

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-25
車両課 (車両引取り・査定)
TEL 076-237-5133
FAX 076-237-1950
Email: sales@kaiho.co.jp

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-23-3
部品課 (部品注文/担当:大森・鹿野)
TEL 076-237-5138
FAX 076-237-6090
Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。
<http://www.kaiho.co.jp/jp/>
ご意見ご要望はこちらまで
soumu@kaiho.co.jp(担当:松島)